71

754.7
.S5S

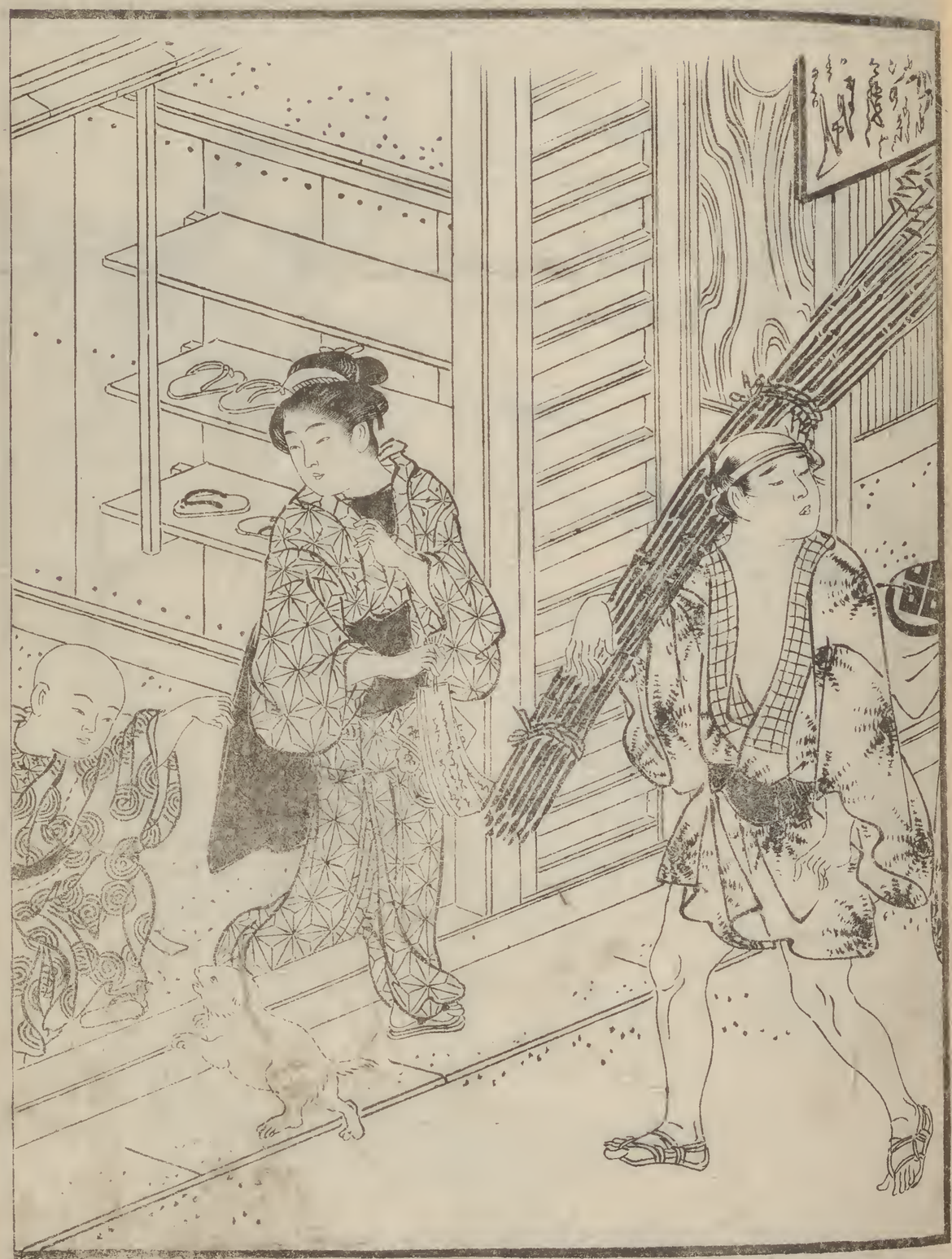
LAW

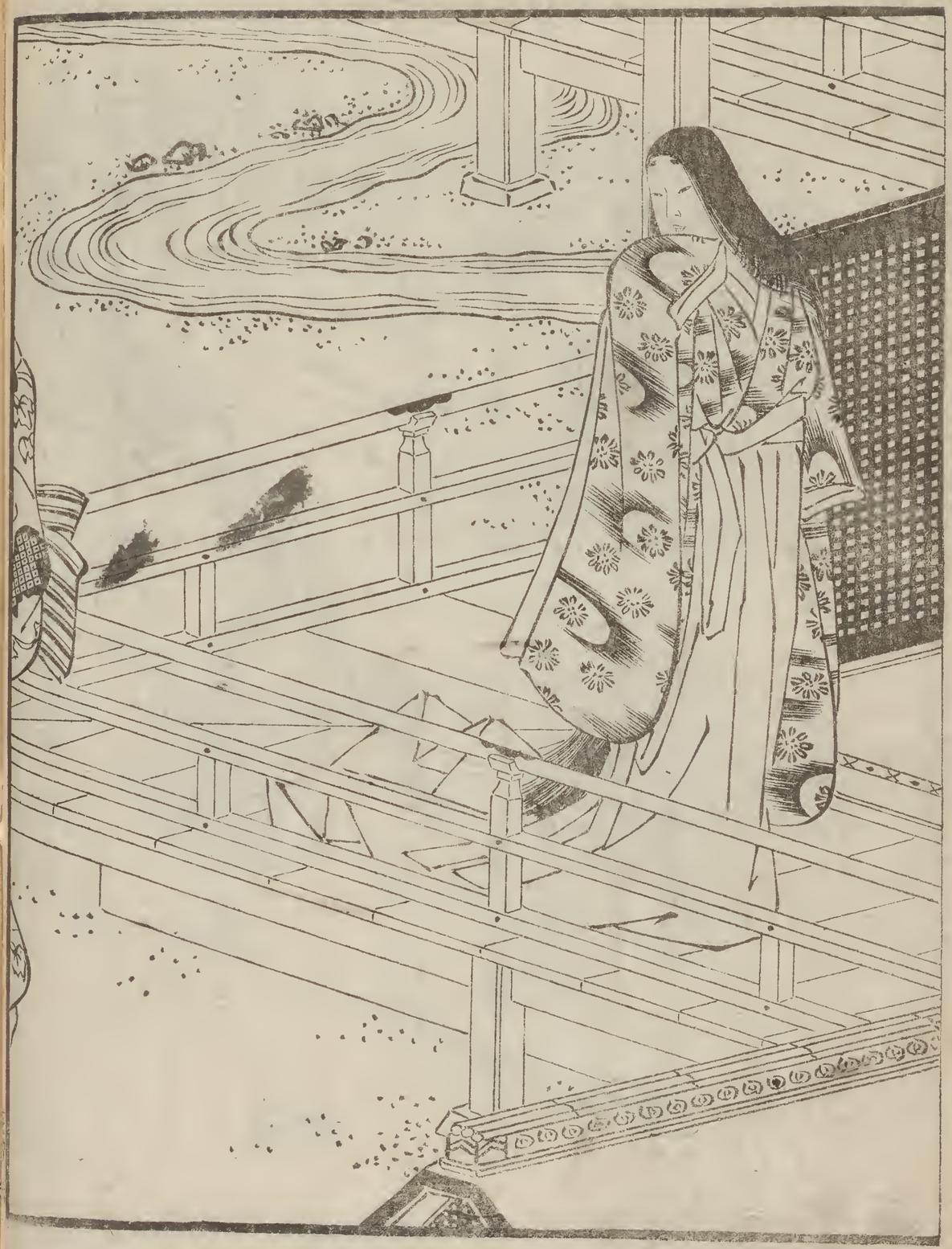
租税紀業の楷序

LAW

754.7
.S5S

れ墨其妻窓と
弟子越氏其ち紀
まぐれかくて冷索翫の
といへども彼仆
小なるやうよ年よ一変の燎
多しのみならず今の
とは天帝もどうよく好





寛政庚申中
宛中日丸
千本松丸
則有一遊
美徳府

七夕のうれよ尽きを待つ夜一筋ナルものう一筋よ松
ふれてもやれよあの衣を恋をまなの花とうたふ
七夕のいそく別のきのふくさ
天の恋をまつらはもをの小夜ふけ
かくて別のあけおもふ
そうまりいをする夜引きて天の川をとけ

松舟泊
川舟梓也
相一葉
栗伊賀丸
松葉波
浦風綾丸

一行亭
川松人
中山道
芦之湯
二方長の一
二方長にてとりあへず
御能士門丸

盆おのふくまる七夕のうれのう
年よ一夜めぐりあふ衣の七夕ハ秋のくる
一ともおなをなふ
七夕よ祝ふのいのちハ中
歌の十二十もかなれて
ちぐりて風をとる二ツ星中ハさりあな七夕の恋

雲とゝもり雨ふれば早の雲よりや下界（名ハみえぬ）

七夕のむこうる妻よ夕月の　　志坂時策

さやる共楽ふる比ハうてゝ行かたきまゝ橋

索麪の糸ハ早に油へてもいうにたちきりの二枚つゝみ

堀川大笑

よもひ早共名ハ流れぬ天河代ゝよ契の設ハまくも向ふ

槻岬継

七夕ハ葛のさてもる歩風よもちて遠杖の書ハうくまる

園生槻吉

短冊をさゝげる竹の一本妻ゝてしうきよりよりくハ等

紅安丸

秋流をてゐる天のかりくふるも面ゝをも

志永金集

ゝよりく夜も秋ゝもあるをりよいゝて

妻をも早に今宵ハかぐ山廣のうへもぶまじ事ゝく

葉野五湖

小ふ杖ゝあるうるたゝ片ゝ七夕乃ゝ

櫻陰子義敬

早ゝ夜のふけハゝもかゝ

豊年雪丸

七夕ゟ祢ぐらしの冬のさむさまで　関坂道

第一把うーの世帯もち　鳳羽風

成ゆきまよのうんと長星の今晩は天河をつくづくやねのぬる星　江戸町中

七夕のこよひもふるのかしら小神めて米あらひ今宵　浜山奥住

たくさんの梶のそよぎも一経冊の竹のえだ今ゟ為　伊勢の蜜補

おちてなびくもみぢつゝ今晩は染て待ゟ　馬道素解

七夕のまいにち五百枝の糸くり出しおもひ姫ぎみ　紀伊作舞

おのゝ名をかく丹の星みあしておもひ　花高九

静かさや机にむかふ一夜の風たちぬる　旭市楽行

七夕へそんをむきよの一枚の外はまつ秋も　中好小吉

織姫よりかし二枚のちぎりてや七日の涙名ごり　文屋次丸

かさねのそでゟ七夕の仲人いとゞ妻もくゝ　乾石泡雪

いつくうそてまかりる昼の乱面向不背共あまよ

天河さしくる秋よ七種に

七夕のまれまる夜ハうれのうれをも

漢江仲人新月日けのさんて青よりもれ

銀河中秋源みてうれる年よつまいあもよ山

山家庚信

離峰沈

柱眉佳

埒明兼

柳条向

有和空風

千客万来

物事嘉丸

故金屋丸

子早振立

浅継安

天河のまれりてる一夜四うそうそうんとうのやうに

白露も玉の床にて七夕のもちうり今宵めでたき
散ぬ間のあふとうれしき名ぞ高き　石音芳
年ごとに新たはこのあやの糸　花江戸住
重ねてあふ情の出来ありがたの辻君うたも　月並安見
来年もうれしき星よ五百様を織女ごゝろ　橘斜植
川井雨窠
天の川うつる笹よりおく露の玉ぬく糸も今宵ありて　橘斜妻
染るとて五色の糸もうみ初るふたもと向ひ机　川井雨窠
来年ぬふまでの峯う織姫もさぞ長星ぬすむ野路　芳社教集
天河もうち橋も秋のうち渡るとそ　大阪若持
めでたのこ今宵一夜はをきもうちあみてをく梶枕の業　宿　倭満
七夕のあふ夜あけがたん活毛天の河原ぬまれうう手　菅　唐丸

秋の女うさんの中よおり姫ぐみ一さんのそらのめぐり
と毎よ逸衣の数ハかさねれと二星の中よでれ星ハち
雨風のあいの日とて七夕のうるこ天の川ともハ水
まちよちる神のうしまうハ姫ちれ垂そあふ二ッち
七夕よ秋のいとものいとをくり汁のめとよりのぞおちち
七夕よおるのちれを不富ちれとちる秋の帆ハちめち

七夕のこぶれちねへまい汁色ふハ手よつ玄のしちち秋あり
秋の代の中一つてて和琴ちちけー紅葉の橋柱ち秋
結ふり和糸打あま琴衣張ぬこと星ちちめものとて
星ち数ぶべてらつち雫牛と織女のらうちおハもつま

耕書堂藏板繪本同錄

御江戸常盤橋御門本町筋北ニ八町目通油町

蔦屋重三郎

百人一首 古今狂歌叢 宿屋飯盛撰 古今人の像自詠狂哥合 彩色摺 箱入

五十人一首 東都曲狂歌文庫 同撰 彩色摺一冊

繪本忠臣蔵 同撰 歌麿画 忠臣蔵十段目 彩色摺 箱入

狂歌春遊 繪本和歌寿 同画 彩色摺 箱入

繪本武者鞋 北尾重政筆 さへづき拵 大本 二冊

繪本吾妻鞆 同画 三冊

世六員狂歌合 汐干狩 朱樂管江撰 歌麿画 彩色摺 箱入

繪本百噺 宿屋飯盛撰 狂哥合 十人番 繪本狂歌合 喜多川歌麿画 彩色摺 箱入 三冊

繪本八十宇治川 同画 むしやつくし 二冊

繪本江戸爵 喜多川歌麿画 三冊

吉原契情 美人合自筆鑑 名ある女郎若くして名を残すこと 彩色摺 箱入

繪本十二月望 月の名所うつし 彩色摺 箱入

繪本譬喩節 同画 世話を画きて狂哥をくわへし 三冊

繪本武將一覽　北尾紅翠齋画　三冊

繪本武將記錄　同画　右の後編を長性院澄芝と共に　三冊

繪本武將略傳　同画　武將一流のお編　三冊

繪本武將撮要　同画　通俗のお編　未刻　二冊

繪本武將記支　同画　撮要のお編　未刻　二冊

繪本百福壽　同画　未刻　長壽と福祐の人像　二冊

繪本百福壽後編　同画　世編ふそ百小充る　三冊

画圖勢勇談　島山石燕畫ク猿のくらいづをもつて　三冊

江戸名所百首後編　繪本江戸名所　同撰　寄羅金鶏画　江戸名所花暦と画ク　三冊

繪本嬉見童　北尾紅翠齋画　子〳〵とゆそひのやうしき号　三冊

繪本駿河誄　三冊

同　後編　同画　春のもれうそ号　三冊

繪本笑婦兒　同画　女子のあそひのことをもつて　三冊

繪本詞の花　喜多川歌麿画　二冊

繪本花の雲　同画　さくらの名所を絵ふうに彩色摺綴入号　三冊

繪本報世裏　同画　雪中の景色をうつし彩色摺箱入号　三冊

江都畫工

勝川春潮　三冊

歌工　藤一宗

同　山口清秋

同　安藤園榮

繪本千代煤　同　春出来

書林　御江戸通油町　萬屋重三郎